

まちビジョンの全体像（案）

1. 名称（案）

小山田中部地区まちビジョン

2. 策定の経緯

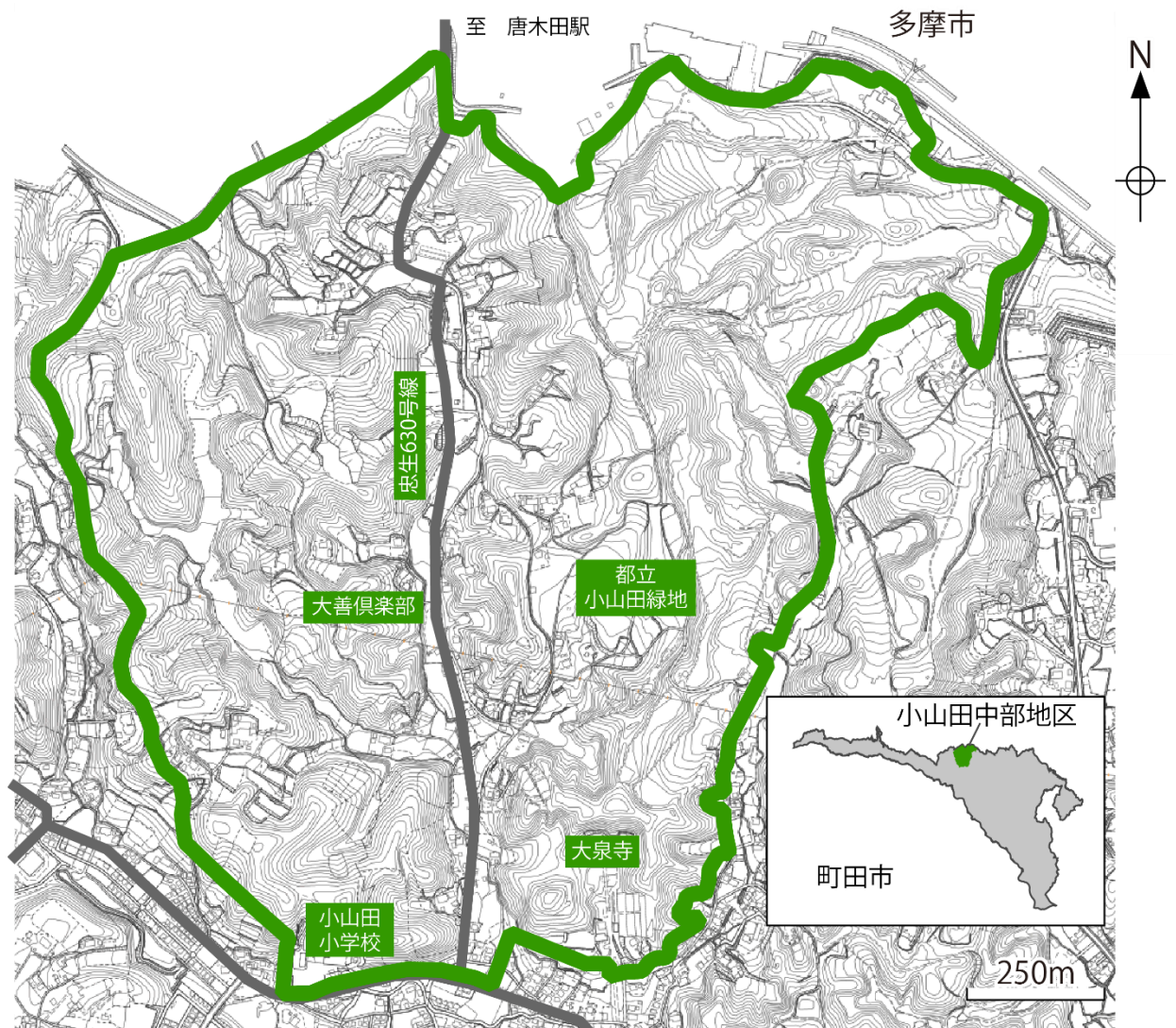
小山田中部地区は、町田市北部に位置し、多摩市の多摩ニュータウンに接する地区です。地区内は、多摩丘陵の大きな緑地帯を抱え、複数の尾根と谷戸によって構成される丘陵地です。大部分は市街化調整区域となっており、豊かな自然環境の中に集落や農地が残る地域です。

一方で、若い世代が少なくなり、耕作放棄地が増えるなどの課題が見られます。

みどり豊かな自然資源に恵まれた住環境を守り続けるためには、その魅力や価値を若い世代へ継承し、住民だけでなく地区に関わる人たちを増やしていくことが求められます。地区の魅力を多くの方々に伝え、地区の資源を活かしてその魅力を高める必要があります。

小山田中部地区では、地区のまちづくりに係る目標や方針を掲げ、地区の魅力を高める具体的な活動を「まちビジョン」に定めることとしました。

2. 位置、区域



3. 評価の時期

〇〇〇〇年 〇月頃 もしくは 〇年

4. 目標（案）

住民が安心して住み続けることができ、かつ、
来訪者も自然を楽しむことができる、
活気のある持続可能なまち

町田の北部丘陵の豊かな自然環境を活かし、地域住民が安心して住み続けられるまちづくりを推進します。

また、地域住民とともに、来訪者も自然を楽しめるまちづくりを推進し、経済の循環を創出し、地域を活性化していくことを目指します。

併せて、道路などの都市基盤の整備や、地域に影響を与えるその他の事業などが行われる場合は、それらを踏まえた街づくりを行っていきます。

5. 方針

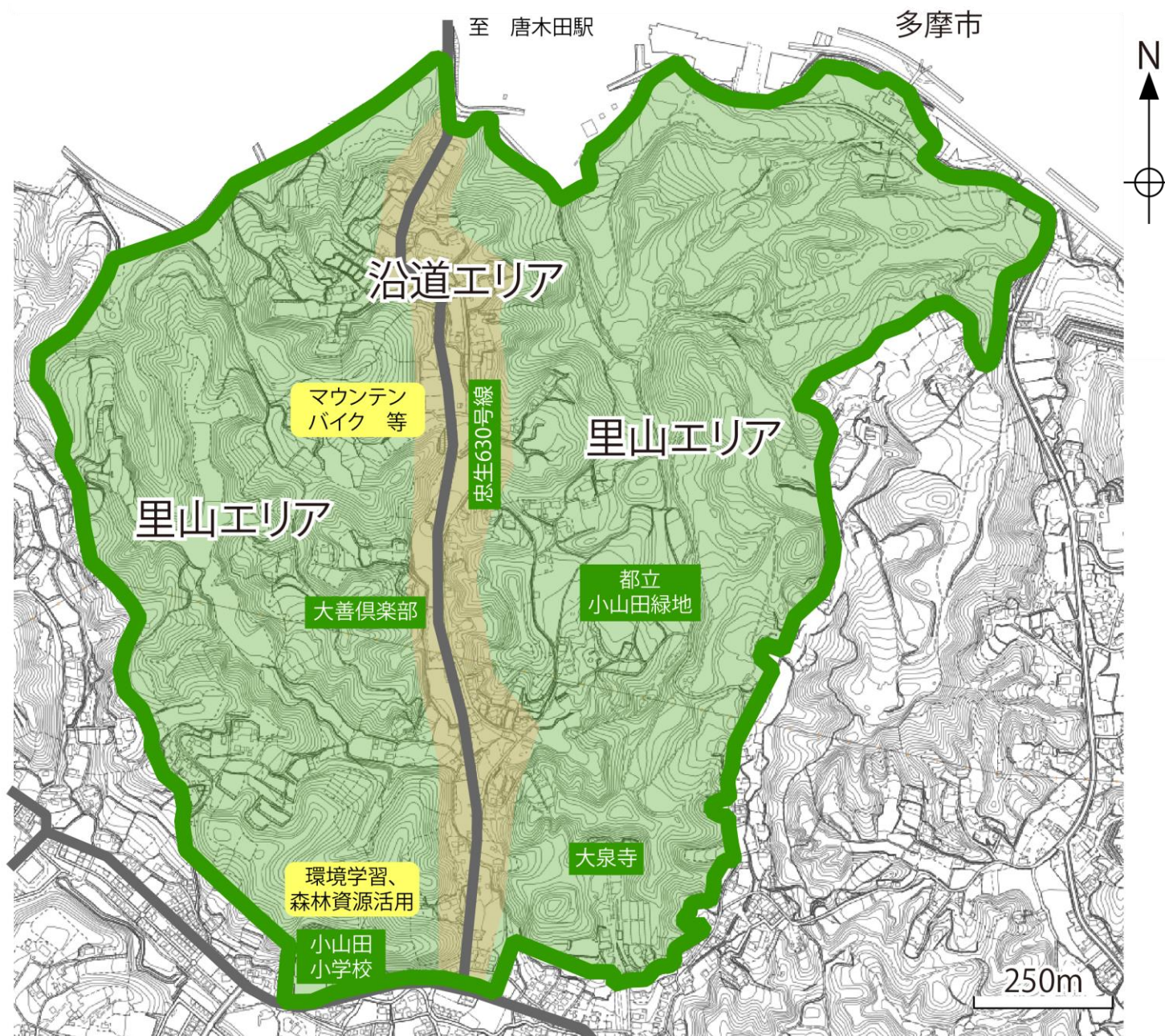
方針1

方針2

方針3

6. 具体的な活動（案）

	活動名・概要	活動場所 (イメージ)	対応 する 方針
1	多世代が1年を通して自然を楽しむことのできる場や機会の充実 ・ これまでも実施してきた環境学習やマウンテンバイクを楽しむ活動など、多世代が里山環境を活用して楽しめる場や機会を充実する ・ 来訪者と住民がともに自然を楽しめる機会を創出する ・ 植栽等を行い、住民・来訪者が1年を通して自然を見て楽しめる場づくりを進める ・ 季節ごとに里山環境を楽しむことができる場や機会を充実する	里山エリア	1、 2
2	自然資源、農産物の魅力を発信する ・ 農産物を直売する ・ SNSなどを活用して、地区内の自然資源や農産物の情報を発信する	里山エリア、 沿道エリア	2
3	木材の有効活用 ・ 竹材、広葉樹材の活用に取り組む ・ 木材の活用によって、地域経済が循環するしくみをつくる	里山エリア、 沿道エリア	2
4	エリアを回遊できるようマップやサインの作成 ・ 住民に配慮したうえで来訪者がエリアを回遊して楽しめるルートマップを作成する ・ 来訪者が楽しんで回遊するためのサイン（看板等）を作成する	里山エリア、 沿道エリア	3
5	地区の魅力を整理し、まちの誇りを醸成する ・ 小山田の里山環境の魅力や価値について情報を整理しとりまとめる ・ 地域の魅力となる歴史・文化の情報を整理しとりまとめる ・ 整理した情報をエリア内の住民、来訪者に周知するとともに、次世代に継承する。	全体	3



7. ビジョンの全体像（イメージ）

